

平成24年度 第1回 経営協議会議事要録

日時 平成24年5月17日(木) 13時00分から14時20分
場所 如水会館3階「桜の間」
出席者 【委員】山内学長、
大塚委員、北尾委員、中島委員、新井委員
大芝委員、落合委員、小川委員、山部委員、糟谷委員、林委員
【陪席者】渡邊監事、二村監事、金田学長特別補佐

議事に先立ち、学長より新任委員の紹介及び前回(平成24年度第1回)の議事要録について確認が行われた。

審議事項1. 平成25年度概算要求について

小川理事より、平成25年度概算要求について、資料2に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、文部科学省への提出までに要求内容等に修正が生じた場合には、学長に一任いただくことが了承された。

なお、審議の過程において、委員より以下の意見及び質問があった。

- ・ 新規事業における優先事項の有無について。
- ・ 新規事業の「大規模・高頻度データ解析に係る研究基盤の構築事業」の要求内容に記載されている「世界的にもユニークなデータ」とは何か。
- ・ 新規事業を見ると研究の比重が大きいように感じるが、人材育成等教育に関するプロジェクトについてはどういう取り組みを行なっているのか。
- ・ 予算要求の全体像の中で本件がどのような位置取りなのかお示しいただきたい。

審議事項2. 学長選考会議委員の選出について

総務課長より、学長選考会議委員の選出について、資料3に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

審議事項3. 国家公務員の給与減額支給措置に係る本学の対応方針について

山内学長及び人事労務課長より、国家公務員の給与減額支給措置に係る本学の対応方針について、資料4に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、審議の過程において、委員より以下の意見があった。

- ・ 代償措置とは給与の補填と解するが、その財源は確保できるのか。
- ・ 国立情報学研究所では既に減額措置を行なっているが、代償措置として給与ではなく休暇を付与することとした。
- ・ モチベーションの低下が懸念されるため、職員の士気を保つ方法も検討されたい。
- ・ 人件費を1割近く削減するという点について、民間企業の場合は、どの程度減額するかどうかは生産性との兼ね合いで決まるが、国家公務員のような雇用形態の場合は制度自体を見直す必要があるのではないか。
- ・ 給与の削減ではなく、研究費にインセンティブを与えてはどうか。

報告事項 1. 平成 24 年度年度計画について

小川理事より、平成 24 年度年度計画について、資料 5 に基づき報告があった。

報告事項 2. 一般社団法人一橋大学コラボレーション・センターについて

小川理事より、一般社団法人一橋大学コラボレーション・センターについて、資料 6 に基づき報告があった。

報告事項 3. 国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について

小川理事より、文部科学省から国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認があった旨、資料 7 に基づき報告があった。

報告事項 4. 第 2 期全学情報化グランドデザイン報告書について

小川理事より、第 2 期全学情報化グランドデザイン報告書に関し、資料 8 に基づきその内容等について説明があった。

本件に関し、委員より以下の意見があった。

- ・ もっと先進的なデザインを有する国内外の大学や企業など、外部機関の事例を取り入れてはどうか。
- ・ クラウド化などは外部委託したほうが低廉ではないか。

報告事項 5. 経営協議会開催予定日等について

総務課長より、経営協議会の今後の開催予定日等について、資料 9 に基づき報告があった。

以 上